

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	ユネスコ会議関係共通経費		担当部局庁	国際統括官付		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和27年度		担当課室	国際統括官付		国際課国際協力政策室長 浅井 孝司		
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-2 国際協力の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ユネスコ活動に関する法律(第3条)		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)主催の国際会議に出席し、我が国が必要な提案や発言等を行うことで、ユネスコ活動への積極的な貢献を果たす。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ユネスコでは定例の国際会議(ユネスコ総会、執行委員会等)の他、教育、科学、文化、コミュニケーションに係る国際会議を各国の希望に基づき、当該国がホストする形で不定期に開催している。本経費は、これらの国際会議への出席に必要な経費である。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	18	17	17	17	17	
	執行額	16	15	12				
	執行率(%)	88.9%	88.2%	70.6%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	ユネスコ主催の国際会議へ出席するための経費であり、定量的な成果指標の設定は困難。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	出席会議数		活動実績 (当初見込み)	件	18	14	15	-
						(15)	(11)	
単位当たりコスト	0.8 百万(円/件)		算出根拠	= 予算執行額(12百万円) ÷ 出席会議数(15件) ※平成22年度				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	庁費	8百万円	7百万円					
	職員・委員等旅費	7百万円	20百万円					
	諸謝金	2百万円	2百万円					
計	17百万円	29百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、「ユネスコ活動に関する法律」(昭和27年6月21日法律第207号)に基づき、ユネスコが開催する定例及び不定期の国際会議に出席することを目的として行われるものであり、ユネスコの国際会議において、我が国が必要な提案や発言等を行いユネスコ事業に関する影響力を持ち続けるために、引き続き本事業予算を適切に執行するよう努める必要がある。平成24年度は、国連「持続可能な開発会議(リオ+20)」(於 リオデジャネイロ)など、大きな国際会議等が予定されており、それらへ出席するための旅費を拡充する必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、ユネスコが開催する定例及び不定期の国際会議に出席することを目的として行われるものであり、今回、予算執行率の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:平成22年度において予算に不用が生じているが、平成24年度においては、国連「持続可能な開発会議(リオ+20)」(於 リオデジャネイロ)など、大きな国際会議等が予定されているため、それらへ出席するための旅費を拡充することとしており、現時点において見直しの余地はないが、引き続き予算の効果的・効率的な執行に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

ユネスコ会議関係共通経費

A. 文部科学省
12百万円

旅費 7百万円
庁費 4百万円
諸謝金 1百万円

ユネスコの定例の国際会議
(ユネスコ総会、執行委員会
等)及びその他教育、科学、
文化、コミュニケーションに
係る国際会議に出席。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	ユネスコ会議出席に係る職員及び委員等旅費	7			
庁費	ユネスコ会議出席に係る会議費等	4			
諸謝金	ユネスコ会議出席に係る出席謝金等	1			
計		12	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)